

表1 各トリプタン製剤の薬理学的性質

製剤名	剤形	Tmax (h)	半減期(h) T _{1/2}	生物学的 利用率	BBB 通過	代謝産物 の活性	代謝経路
スマトリプタン (イミグラン)	注射	0.21	1.46		—	—	MAO-A
	点鼻	1.30	1.87		—	—	
	錠剤	1.8	2.4	14%	—	—	
ゾルミトリプタン (ゾーミッグ)	錠剤	3.00	2.4	39%	+	+	Cyp1A2, MAO-A
	口腔内速溶錠(RM)	2.98	2.9	38%	+	+	
エレトリプタン (レルパックス)	錠剤	1.0	3.2	36.4%	+	±	Cyp3A4
リザトリプタン (マクサルト)	錠剤	0.8	2.3	45%	+	+	MAO-A
	口腔内崩壊錠(RPD)	1.0	1.6	48%	+	+	
ナラトリプタン (アマージ)	錠剤	2.68	5.05	70%	—	—	Cyp1A2, Cyp2C9 など



基本的には、効力の弱いものから処方する。国内発売のうち1錠あたりで比較すると、弱い順にアマージ® < レルパックス® < マクサルト® < ソーミッグ® ≤ イミグラン® と推定されている。一般的副作用の出現頻度はほぼその逆と考えてよい。

表4 各トリブタンの特徴

	商品名	長所	短所
スマトリブタン	イミグラン® イミグラン® 点鼻	脂溶性が低い 中枢・乳汁移行が少ない 効果発現約10~15分。 二峰性の濃度曲線を示し、速くも効くし、 ゆっくりも効く。	苦い
ゾルミトリブタン	ゾーミッグ®	中枢移行 多	締め付け・フワフワ感が多い
エレトリブタン	レルバックス®	マイルドな効き方で、締め付け感も少なめ。	マクロライド併用注意
リザトリブタン	マクサルト®	経口剤では立ち上がりをもっとも早い。	消失半減期も短い。 プロプラノロール併用禁忌
ナラトリブタン	アマージ®	消失半減期が長い 締め付け感やフワフワ感などが少ない	立ち上がりが遅い